

# 家族介護へ逆戻り

給付抑制で悪化  
Bさんは「要介護の人への  
サービスは、要介護状態にな  
らないためのものだったはず  
です。総合事業への移行で、  
利用できる程度が減り、要介  
護状態に悪化した人もいま  
す」といいます。

岸田文雄政権が介護保険給付の見直しをすすめています。

す。医療費の社会保険支給では、料金の引き上げや要介護1～2の訪問介護などの保険給付除外、ケアプラン作成の有料化などを提示しています。「史上最悪」とされる改悪メリーに対し、利用者と事業所からは強い懸念や不安、怒りの声が上がっています。

(藤原敬佑)

## 利用者も事業者も懸念

埼玉県所沢市の△さん(82)

は、妻(81)とともに介護保  
険サービスを利用していました。

要介護1です。妻には軽度の  
認知症があり、週2回、リハ  
ビリターセンターへ通っています。介護保険を利用して、1  
回あたりの負担は600円、  
月で1万2000円になります。

週に一度、訪問ヘルパーも利  
用しています。  
これらが保険給付から外さ  
れ自治体事業に移行するとい  
うことで△さん夫婦の医療費は月  
超えます」と困惑を露しませ  
ん。△さん夫婦は、「弱い人ばかりを狙って  
いる」とか思えません」

事業者も、制度改悪の動き  
に懸念の声を上げています。  
私があります。

### 弱者ばかり狙う

△さんは呼吸困難の特病  
があります。就寝時は呼吸を  
しやすくするために介護保険が  
らんとした運動ペンドが  
不可欠です。今回の廃止案の  
給付が必要になります」と懸

念を示します。

要介護1～2はすでに介護  
保険給付から外され、市町村  
が運営する「総合事業」にて  
います。

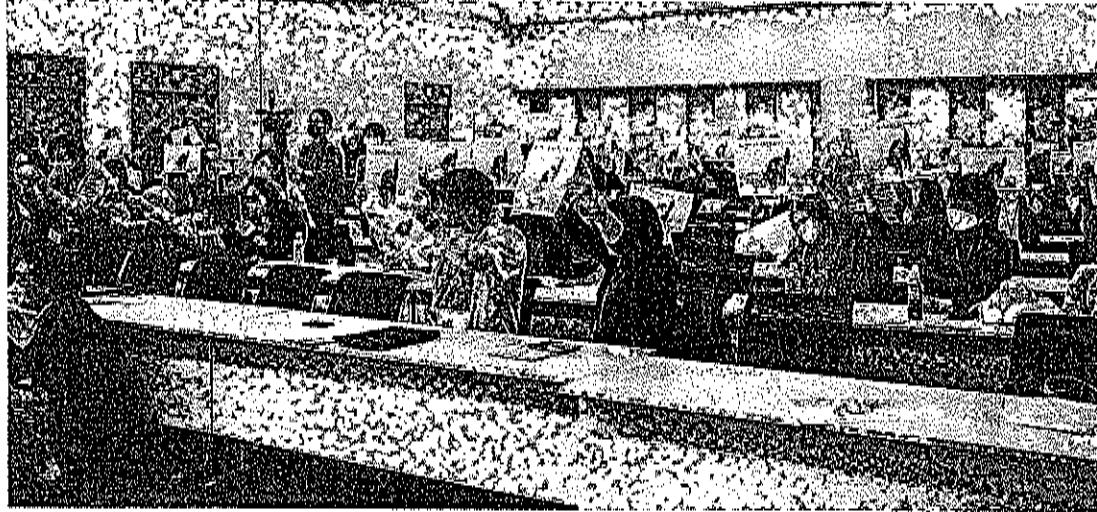
移行。総合事業は一部無資格  
のボランティアさんが扱い手

がそれまで訪問介護によって  
適切に服用できていた薬が飲  
めず、症状が進む可能性もあ  
ります。要介護1～2が保険給付から外さ  
れれば、認知症のある利用者  
がそれまで訪問介護によって  
適切に服用できていた薬が飲  
めず、症状が進む可能性もあ  
ります。

「みんな訪問介護を頼りに  
しているのです。何とか在宅  
で生活できていたのに、訪問  
介護が使う心にならぬと、  
在宅生活ができないなりま  
す」

Bさんは「家族は訪問介護  
があるから安心して働きに出  
られます。介護給付から外さ  
れたり、以前のような家族介  
護の時代に逆戻りし、安心し  
て生活できません」と指摘し  
ます。

やのうまで△さんは「いい  
介護をやるじで、利用者の  
状態も悪くならない。長期的  
に見れば、それが結果的に、  
介護給付も医療費もかかるな  
ことになります」と強調しまし



介護保険の大改悪に反対する集会で、プラカードを掲げて改悪に抗議の意思を示す人たち=18日、衆院第1議員会館